



2023年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月10日
上場取引所 東

上場会社名 ショーボンドホールディングス株式会社
 コード番号 1414 URL <https://www.sho-bondhd.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岸本 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 関口 恭裕 TEL 03-6892-7101
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第3四半期の連結業績（2022年7月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第3四半期	60,788	△1.7	13,828	△1.4	14,110	△0.2	9,888	0.9
2022年6月期第3四半期	61,822	△0.0	14,026	7.6	14,142	5.7	9,798	7.2

(注) 包括利益 2023年6月期第3四半期 9,868百万円 (△1.6%) 2022年6月期第3四半期 10,027百万円 (2.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第3四半期	186.50	—
2022年6月期第3四半期	182.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第3四半期	116,789	94,243	80.6
2022年6月期	117,423	94,247	80.2

(参考) 自己資本 2023年6月期第3四半期 94,175百万円 2022年6月期 94,154百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	50.00	—	68.00	118.00
2023年6月期	—	52.00	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	—	—	73.00	125.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2023年6月期期末配当金（予想）の内訳 普通配当68円 記念配当5円
 詳細は2023年5月10日発表の「2023年6月期期末配当予想の修正（創立65周年記念配当）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,200	4.9	17,800	3.1	18,300	3.6	12,700	2.7	239.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年6月期3Q	56,745,180株	2022年6月期	56,745,180株
② 期末自己株式数	2023年6月期3Q	4,116,210株	2022年6月期	3,503,192株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年6月期3Q	53,019,160株	2022年6月期3Q	53,614,780株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の予想数値とは異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は当社ウェブサイトにて同日に掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年7月1日～2023年3月31日)における当社グループの連結業績につきましては、受注高は、国、地方自治体からの受注は増加しましたが、第1、第2四半期に引き続き第3四半期も高速道路会社からの長期大型工事の受注が減少したことにより、前年同期比19,172百万円減少(24.3%減)の59,582百万円となりました。

売上高は、長期大型工事の施工が順調な高速道路会社の完成工事高および伸縮装置や無機系工事材料等の販売が好調な工事材料売上高が増加した一方で、期首受注残高の少なかった国、地方自治体の完成工事高が減少した結果、前年同期比1,033百万円減少(1.7%減)の60,788百万円となりました。

しかしながら、第3四半期(2023年1月～2023年3月)の売上高は22,367百万円と四半期ベースとしては過去最高の売上高を計上しました。高速道路会社の長期大型工事の施工が本格化し、着実に完成工事高を伸ばしております。

受注残高は、前期末から1,206百万円減少、前年同期比では3,267百万円減少(4.0%減)の79,095百万円となりました。

利益につきましては、売上高の減少により売上総利益が減少し、営業利益は前年同期比197百万円減少(1.4%減)の13,828百万円となりました。売上総利益は前年同期比で減少しましたが、売上総利益率は設計変更の獲得等により28.7%と前年同期(28.5%)を上回る水準となりました。

経常利益は前年同期比31百万円減少(0.2%減)の14,110百万円、特別利益に投資有価証券売却益を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比89百万円増加(0.9%増)の9,888百万円となりました。

各セグメントにおける受注実績、売上実績、及び受注残高は次のとおりです。(各実績は外部顧客に対するものを記載しています。)

受注実績

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
国内建設	76,181	56,783 (△25.5%)
その他	2,572	2,798 (8.8%)
合計	78,754	59,582 (△24.3%)

(注) 表中の百分率は、対前年同期増減率

売上実績

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
国内建設	59,249	57,990 (△2.1%)
その他	2,572	2,798 (8.8%)
合計	61,822	60,788 (△1.7%)

(注) 表中の百分率は、対前年同期増減率

受注残高

(単位：百万円)

区分	前第3四半期連結会計期間末 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2023年3月31日)
国内建設	82,362	79,095 (△4.0%)
その他	—	— (—%)
合計	82,362	79,095 (△4.0%)

(注) 表中の百分率は、対前年同期増減率

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末より634百万円減少し、116,789百万円となりました。これは主に、受取手形・完成工事未収入金等が増加した一方で、有価証券及び投資有価証券が減少したためです。

負債は、前連結会計年度末より630百万円減少し、22,545百万円となりました。これは主に、賞与引当金が増加した一方で、未払法人税等及び流動負債「その他」が減少したためです。

純資産は、前連結会計年度末より3百万円減少し、94,243百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加した一方で、自己株式の取得を行ったためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期通期の連結業績予想につきましては、2022年8月10日の決算発表時に公表した数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	15,023	16,867
受取手形・完成工事未収入金等	50,760	62,936
電子記録債権	1,196	1,250
有価証券	14,999	2,099
未成工事支出金	26	19
その他の棚卸資産	1,156	1,124
その他	3,152	3,020
貸倒引当金	△19	△18
流動資産合計	86,297	87,299
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,150	4,285
機械装置及び運搬具（純額）	230	229
工具、器具及び備品（純額）	262	266
土地	9,228	9,098
リース資産（純額）	49	44
建設仮勘定	664	1,017
有形固定資産合計	14,585	14,942
無形固定資産		
のれん	426	352
その他	278	252
無形固定資産合計	704	605
投資その他の資産		
投資有価証券	12,101	10,962
退職給付に係る資産	757	806
繰延税金資産	306	716
土地再評価に係る繰延税金資産	709	668
その他	1,976	805
貸倒引当金	△15	△17
投資その他の資産合計	15,835	13,941
固定資産合計	31,126	29,489
資産合計	117,423	116,789

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,374	7,252
電子記録債務	4,456	3,633
未払法人税等	3,720	2,223
未成工事受入金	943	1,830
賞与引当金	—	2,032
役員賞与引当金	399	—
完成工事補償引当金	257	221
工事損失引当金	66	38
その他	5,244	3,615
流動負債合計	21,463	20,848
固定負債		
繰延税金負債	33	—
完成工事補償引当金	346	338
役員退職慰労引当金	24	20
退職給付に係る負債	1,223	1,240
その他	83	97
固定負債合計	1,712	1,697
負債合計	23,176	22,545
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	34,762	34,762
利益剰余金	59,162	62,589
自己株式	△5,514	△9,017
株主資本合計	93,410	93,334
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,417	2,395
土地再評価差額金	△1,606	△1,515
為替換算調整勘定	35	35
退職給付に係る調整累計額	△102	△73
その他の包括利益累計額合計	743	841
非支配株主持分	93	67
純資産合計	94,247	94,243
負債純資産合計	117,423	116,789

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
売上高	61,822	60,788
売上原価	44,227	43,361
売上総利益	17,595	17,427
販売費及び一般管理費	3,568	3,598
営業利益	14,026	13,828
営業外収益		
受取利息	22	15
受取配当金	84	87
受取保険金	6	174
受取賃貸料	31	23
持分法による投資利益	4	—
その他	41	34
営業外収益合計	190	335
営業外費用		
支払手数料	18	19
賃貸費用	10	8
事故関連損失	37	—
持分法による投資損失	—	15
その他	7	10
営業外費用合計	74	53
経常利益	14,142	14,110
特別利益		
固定資産売却益	87	1
投資有価証券売却益	2	339
受取損害賠償金	116	—
特別利益合計	205	340
特別損失		
固定資産除却損	0	0
完成工事修補費用	60	—
投資有価証券売却損	—	1
その他	4	—
特別損失合計	65	1
税金等調整前四半期純利益	14,282	14,449
法人税、住民税及び事業税	5,355	4,997
法人税等調整額	△857	△407
法人税等合計	4,498	4,589
四半期純利益	9,783	9,860
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△14	△28
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,798	9,888

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	9,783	9,860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	196	△22
為替換算調整勘定	20	△5
退職給付に係る調整額	27	31
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	5
その他の包括利益合計	243	8
四半期包括利益	10,027	9,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,042	9,894
非支配株主に係る四半期包括利益	△15	△25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年8月10日に開催された取締役会の決議に基づき、当第3四半期連結累計期間に当社普通株式612,500株を3,499百万円で取得しました。当該自己株式の取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が3,503百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末の「自己株式」は9,017百万円となりました。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

(事故関連損失)

前第3四半期連結累計期間（自 2021年7月1日 至 2022年3月31日）

当社子会社のショーボンド建設株式会社が施工する東名高速道路の橋梁補修工事で、2019年11月に発生した火災事故に伴う損失見込額のうち、当第3四半期連結累計期間に発生した損失額37百万円を営業外費用に計上しております。

(受取損害賠償金)

前第3四半期連結累計期間（自 2021年7月1日 至 2022年3月31日）

当社の子会社であるショーボンド建設株式会社が提起しておりました、溶接不良にかかる損害賠償請求訴訟において和解が成立したことによる和解金116百万円を計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2022年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	国内建設				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	59,249	2,572	61,822	—	61,822
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	2,155	2,158	△2,158	—
計	59,252	4,728	63,980	△2,158	61,822
セグメント利益	13,304	712	14,016	10	14,026

(注) 1 「その他」には、海外建設、製品製造販売業、国内外製品販売業を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額の内訳は次のとおりです。

セグメント利益の調整額10百万円には、セグメント間取引消去234百万円、セグメントに配分していない
全社費用△224百万円及びその他の調整額0百万円が含まれております。全社費用は、グループ全体の経営
管理に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2023年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	国内建設				
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	57,990	2,798	60,788	—	60,788
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	1,984	1,985	△1,985	—
計	57,991	4,783	62,774	△1,985	60,788
セグメント利益	13,059	737	13,797	31	13,828

(注) 1 「その他」には、海外建設、製品製造販売業、国内外製品販売業を含んでいます。

2 セグメント利益の調整額の内訳は次のとおりです。

セグメント利益の調整額31百万円には、セグメント間取引消去314百万円、セグメントに配分していない
全社費用△283百万円及びその他の調整額0百万円が含まれております。全社費用は、グループ全体の経営
管理に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。